



新技術先導研究プログラムの技術シーズに係る情報提供依頼（RFI）について

※再提出は受付期間内なら何度でも可能です。同一の法人から同じ研究開発テーマ名の複数の情報提供が提出された場合は、最提出のみを有効とします。

また、再提出の場合は、差分ではなく、全書類を再提出してください。

※登録ボタンを押すと応募内容確認画面に移ります。内容を確認後送信ボタンを押すと受付番号が表示されます。受付番号が表示されるまでを受付期間内に完了してください。

入力・アップロード等の操作の途中で提出期限が来て完了できなかった場合は、受け付けません。

※通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。

特に期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。

※研究開発テーマの補足説明については、NEDO指定様式のパワーポイントにまとめてください。パワーポイントで作成したフルを応募ページ最下段の「情報提供書（補足情報）」の欄からアップロードしてください（提出するファイルには、パスワードを定しないでください）。

パワーポイントの指定様式（ファイル）は、以下URLのページの資料欄（情報提供書補足情報ファイル）からダウンロードしてください。

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00052.html

(略)

②記入例：「〇〇における〇〇〇〇〇〇〇〇の解決（解消、向上、拡大／低減、縮小、削減...）」や「〇〇における〇〇〇〇〇〇〇〇の創出（創製、合成...）」など

① 研究開発テーマ名 (必須)	20字以内で記載してください。 <input type="text"/>
② 達成すべき技術課題 (必須)	40字以内で記載してください。 <input type="text"/>
③ 技術・事業分野 (必須)	<p>今回提供する技術シーズが該当すると思われる技術・事業分野を、以下よりいずれか一つを選択してください（複数選択不可）。</p> <p>他に該当すると思われる領域がある場合には「その他」を選択し、領域の名称を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 新エネルギー分野 <input type="checkbox"/> 省エネルギー分野 <input type="checkbox"/> 蓄電池・エネルギーシステム分野 <input type="checkbox"/> クリーンコールテクノロジー分野 <input type="checkbox"/> 環境・省資源分野 <input type="checkbox"/> 電子・情報通信分野 <input type="checkbox"/> 材料・ナノテクノロジー分野 <input type="checkbox"/> バイオエコノミー分野 <input type="checkbox"/> ロボット・AI技術分野 <input type="checkbox"/> 新製造技術分野 <input type="checkbox"/> 境界・融合分野 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/>

新エネルギー分野	1. 太陽光利用	
	1. 1 (内 光触媒等太陽光発電以外)	
	2. 風力利用	
	3. 海洋利用	
	4. バイオマスエネルギー利用	
省エネルギー分野	5. 地熱利用	
	6. 省エネ産業プロセス (製鉄プロセス、化学プロセス、産業機械等)	
	7. 省エネ民生機器 (家電、空調、照明等。材料開発のみは21へ。)	
	8. 省エネ運輸関連機器 (輸送用機械(車、電車)等)	
	9. 未利用熱利用技術 (熱電変換材料、ヒートポンプ、蓄熱断熱等)	
	9. 1 (内 材料開発が主になるもの)	
	9. 2 (その他 プロセス等材料開発以外)	
	10. 高温超伝導	
	蓄電池・エネルギーシステム分野	11. 水素・燃料電池
		12. 蓄電池
13. 電力系統・送電システム		
14. 系統安定化機器		
15. その他 発電・エネルギー変換技術		
クリーンコールテクノロジー分野	16. 環境調和石炭プロセス (製鉄、石炭火力発電、CCS含む)	
環境・省資源分野	17. 資源有効利用・資源循環システム	
	18. 二酸化炭素有効利用化学プロセス (カーボンリサイクル)	
	19. その他CO2大幅削減に結びつくプロセス	
電子・情報通信分野	20. 電子デバイス (パワーデバイス、センシング)	
	21. 家電 (ディスプレイ、有機トランジスタ、照明) (プリントドエレクトロニクス等含む)	
	22. ネットワーク/コンピューティング (IoT関連、サイバーセキュリティ、光通信含む)	
	23. 構造材料	
材料・ナノテクノロジー分野	24. 希少資源削減・代替技術	
	25. 機能性材料	
	26. マテリアルズインフォマティクス、プロセスインフォマティクス関連技術	
	27. 先端計測・分析技術	
	28. その他 材料・部材 (プロセス含む) (電子部材は20~22へ)	
バイオエコノミー分野	29. 生物機能活用物質生産技術 (合成生物学的手法など)	
	30. バイオ関連解析・計測/分析技術 (新規解析技術、現状技術の高効率化・高精度化など)	
	31. 情報解析技術 (バイオ関連)	
	32. 高精度化・高速化・遠隔化技術 (バイオ研究、バイオ製造)	
ロボット・AI技術分野	33. 革新的化学工学プロセス技術	
	34. 人工知能活用ロボット (機械生産システム含む)	
	35. ロボット活用省エネ技術 (ドローン含む)	
	36. 自動走行社会システム	
	37. インフラ維持管理	
	38. 航空機等先進機械システム (空飛ぶクルマ含む)	
	39. その他量子技術、AIをキーワードとしたシステム	
新製造技術分野	40. 産業用3Dプリンタ造形技術	
	41. 次世代レーザー活用技術	
境界・融合分野	42. 革新的設計生産技術 (純粋な化学プロセス、機械生産システムは6.へ)	
	43. 境界・融合分野 (上記42分野に分類を迷うもののみ)	
その他	44. その他 (上記43分野には該当しないと思うもののみ)	

③技術・事業分野の選択にあたっては、各分野にどういった技術が含まれるかについて左表を参照してください。

④-1 国の戦略 (必須)

今回提供する技術シーズが関係すると思われる国の戦略を、以下より一つ以上選択してください(複数選択可)。
他に該当すると思われる戦略がある場合には「その他」を選択し、戦略の名称を記載してください。また、該当するものがない場合には「該当なし」を選択してください。

- 革新的環境イノベーション戦略(令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議決定)
- 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略(令和2年12月)
- 産業技術ビジョン2020(令和2年5月29日経済産業省)
- 統合イノベーション戦略2023(令和5年6月9日閣議決定)
- マテリアル革新力強化戦略(令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定)
- バイオ戦略フォローアップ(令和3年6月11日統合イノベーション戦略推進会議決定)
- AI戦略2022(令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議決定)
- 量子未来産業創出戦略(令和5年4月14日統合イノベーション戦略推進会議決定) / 量子未来社会ビジョン(令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議決定) / 量子技術イノベーション戦略(令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議)
- 「安全・安心」の実現に向けた科学技術・イノベーションの方向性(令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議決定)
- 該当なし
- その他

④-1の各戦略のURLについては、本資料の「参考」に記載。

*先導研究プログラムでは、脱炭素社会の実現や、新産業の創出を目指していることから、既存の国の戦略・ビジョン等に該当しなくても、この趣旨に該当するものであれば、RFIを提出していただくことは可能です。また、これ以外の国の戦略・ビジョンも記載いただいても構いません。

④-2 重点技術課題 (必須)

今回提供する技術シーズが該当すると思われる技術課題を、以下より一つ以上選択してください(複数選択可)。
ここに示す技術課題に該当しない場合には「その他」を選択し、技術課題名を記載してください。
※過去3年間のRFIにおいて情報提供が多くなされた技術分野のうち、政府の「革新的環境イノベーション戦略」や「グリーン成長戦略」等において2040年以降の実用化・社会実装が必要とされる技術課題を取り上げています。

- 水素/水素キャリアサプライチェーン
- 未利用熱・再生可能エネルギー熱の利用
- CO2の分離・回収
- CO2の原燃料化
- モビリティの電動化等(自動車・大型車両)
- モビリティの電動化等(民間航空機)
- モビリティの電動化等(空飛ぶクルマ・ドローン)
- Society5.0を実現するIoTを支えるセンシング技術
- カーボンニュートラル実現に向けた電化推進のためのパワーエレクトロニクス開発
- 新産業・革新技術の創出に向けた技術(量子、AI、バイオ、マテリアル、デジタル等)
- その他

④-2の重点技術課題については、「先導研究RFI説明資料」のP3~5をご参照いただき、ここに示す技術課題に該当する場合には、該当するものを選択してください(複数に該当する場合は、複数選択してください)。

なお、今回のRFIで募集する〔1〕脱炭素社会の実現に資する有望な技術、〔2〕新産業・革新技術の創出に向けた技術に係る「技術シーズ」に関し、ここに示す技術課題に該当するもののみならず、該当しないものでも有望と思われる技術シーズの提案も期待しております。

④-3 技術成熟度 (TRL) (必須)

今回提供する技術シーズの現時点におけるTRL（技術成熟度レベル）を自己評価し、以下よりいずれか一つを選択してください（複数選択不可）。
※TRLは各種文献を踏まえ作成

- TRL1 科学的な基本原理・現象の発見・確認
- TRL2 原理・現象の定式化、応用可能性の確認、応用的な研究
- TRL3 技術コンセプトの確認、要素技術の構想（創案・調査・予備実験・設計など）
- TRL 4 各開発要素の製作と性能確認、応用的な開発（要素レベル）
- TRL5 全てを統合した実証システム（試作品）の製作（要素レベル）
- TRL6 実証システム（試作品）の導入環境に近い環境での実証（システムレベル）
- TRL7 製品候補の製作と導入環境での実証（システムレベル）
- TRL8 製品の製作と販売（パイロットライン）
- TRL9 商品化、大量生産

④-3については、今回提供する技術シーズの現時点におけるTRL（技術成熟度レベル）について、自己評価し、いずれか1つを選択してください。

※TRL:各種文献を踏まえ作成

⑤-1 先導研究の内容 (技術的な問題点と解決手段) (必須)

500字以内で記載してください。
問題点を解決するための手段をわかりやすく明記してください。

⑤-1～⑤-3については、今回の情報提供が、ハイリスク・ハイリターンでチャレンジングなものであることを、できるだけ簡潔・具体的に、記載してください。

記載にあたっては、問題を解決するためにどのような革新的な技術を創出するのか（手段）を論理的に、また、提案する解決手段の妥当性も含めて記載してください。

*妥当性については、技術シーズの根拠となるような実績・基礎研究の成果をもった提案であることが客観的にわかるように、例えば、代表的な論文等について、「この技術シーズは〇〇〇〇（論文名等）で2023年〇月に発表したものであり、基礎研究を〇年継続してきて基礎データは蓄積されている」のように、具体的に記載してください。

⑤-2 研究開発テーマの革新性 (必須)

100字以内で記載してください。
従来の発想や方法も簡単に説明し、どのような点が革新的であるか記載してください。

<p>⑤-3 研究開発テーマの従来技術や競合技術に対する優位性 (必須)</p>	<p>100字以内で記載してください。 従来技術や競合技術も簡単に説明し、どのような点で優位性があるか記載してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
<p>⑥ 社会実装のイメージ・インパクト (必須)</p>	<p>300字以内で記載してください。 2040年以降の実用化イメージ、産業への波及効果等を具体的に示してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div>
<p>⑦ 類似する研究開発プロジェクト (該当ある場合のみ)</p>	<p>今回提供する技術シーズに類似する研究開発が、過去又は現在、他の研究開発制度・プロジェクトで行われている場合に、実施期間、配分機関名、制度・プロジェクト名を記載してください。 (記入例 ●●年～○○年/配分機関名/制度・プロジェクト名)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
<p>⑧ 既提案先部署名 (該当ある場合のみ)</p>	<p>今回提供する技術シーズを、経済産業省 (METI) やNEDOの部署に対して、既に提案等している場合には、部署名を記載してください。 (記入例 METI/○○課、NEDO/○○部)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>

⑥については、情報提供いただく先導研究が成功裏に本格的な研究開発へ発展し、最終的な開発成果が得られた場合に、どのように政策課題の解決に貢献し、社会に還元されるのかを、社会実装のイメージや産業へ及ぼすインパクト等を示して簡潔・具体的に記述してください。

技術的に達成される仕様（例えば、効率、寿命等）や、可能であれば、その開発技術が最終的に実用化されたときに想定される経済的効果、市場規模、省エネ効果、CO2削減効果等を、競合技術に対する経済的優位性を示しつつ、記載してください。

効果の算出にあたっては、入手できる定量的データ等の根拠も合わせ記載してください。

⑦は、今回提供する技術シーズについて、過去又は現在、類似する研究開発が他の研究開発制度・プロジェクトで行われている場合に、実施期間、配分機関名、制度・プロジェクト名を記載してください（前身のJST事業等も含む）。

※	⇒ 以下⑨の項目については、国際共同研究開発に関する情報提供の場合に必ず記載してください（⑨-4及び⑨-5は任意記載で可）。なお、国際共同研究開発に関する情報提供以外の場合には記載不要です。
⑨-1 情報提供先 (必須)	今回提供する技術シーズの情報提供先について、以下よりいずれか1つを選択してください（複数選択不可）。 <input type="checkbox"/> 国際共同研究開発のみ <input type="checkbox"/> 国際共同研究開発+国内研究開発（エネ環・新新）
⑨-2 想定される海外共同研究先 (国・地域名と機関名) (必須)	(記入例) ○○○○○○○国 ○○○○○研究所 <input type="text"/>
⑨-3 国際共同研究の意義・メリット (必須)	500字以内で記載してください。 <input type="text"/>
⑨-4 当該研究分野における相手国側の政策・戦略等プログラム (任意)	当該研究分野における相手国側の政策・戦略や、海外共同研究先が参画（予定）するファンディングプログラム等があれば300字以内で記載ください。 <input type="text"/>

⑨は、国際共同研究開発に関する情報提供の場合に必ず記載してください。ただし、⑨-4及び⑨-5は任意記載とします。

なお、国際共同研究開発に関する情報提供以外の場合には、⑨の項目はいずれも記載不要です。

⑨-3は、経済産業省が2019年11月6日に公表した「国の研究開発プロジェクトにおける国際連携強化に関する基本的な考え方」（※）を適宜ご参照いただき、国際共同研究開発を行うことが有意義な理由をなるべく具体的に記載願います。なお、上記の基本的な考え方におけるプロジェクトの類型として「①技術獲得・共創型」、「②市場獲得・創出型」、「③持帰型（海外研究環境・事業環境の活用）」があげられております。

※
https://www.meti.go.jp/policy/innovation_policy/basic_policy.html

<p>⑤-5 想定される国際共同研究実施体制 (任意)</p>	<p>想定される研究実施体制（海外共同研究先含む）及び役割分担、研究開発期間、必要経費概算（〇千円／研究開発期間）について、可能な範囲で記載ください。</p> <div style="border: 1px solid gray; height: 200px; width: 100%;"></div>
<p>機関名 (法人名) (必須)</p>	<p>個人の方による情報提供の場合は「個人」と記載ください。</p> <input type="text"/>
<p>法人番号 (13桁)</p>	<p>半角数字13桁で記載してください。 ※法人番号は国税庁サイト (https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/setsumeil/) を参照</p> <input type="text"/>
<p>所属部署</p>	<input type="text"/>
<p>役職名</p>	<input type="text"/>
<p>氏名 (必須)</p>	<p>姓名の間に全角スペースを入れてください。</p> <input type="text"/>
<p>氏名 (ふりがな) (必須)</p>	<p>ひらがなのみ 姓名の間に全角スペースを入れてください。</p> <input type="text"/>
<p>郵便番号 (必須)</p>	<p>半角数字7桁 (ハイフンなし)</p> <input type="text"/>
<p>住所 (必須)</p>	<input type="text"/>
<p>電話番号 (必須)</p>	<p>半角数字</p> <input type="text"/>
<p>メールアドレス (必須)</p>	<p>(確認用の再入力)</p> <input type="text"/> <input type="text"/>
<p>初回の申請受付番号 (必須)</p>	<p>再提出の場合のみ記載してください。 ※初回提出時は「なし」と記載してください。</p> <input type="text"/>
<p>情報提供書 (補足情報) (必須)</p>	<p>NEDO指定のパワーポイント形式で作成したファイルをアップロードしてください。 ※ファイル名は「〇〇〇〇〇 (テーマ名の最初の5文字) _△△△△ (提出者氏名) _▽▽▽▽ (所属機関名 (略称可、個人の場合は省略))」としてください。 ※パスワードは設定しないでください。</p> <input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>

初回提出時には、「なし」と記載してください。提出期間内であれば何度でも提出可能であり、再提出の場合には、初回提出時に付与された受付番号を記載してください。

NEDO指定のパワーポイント形式で作成したファイルをアップロードしてください。
※ファイル名は「〇〇〇〇〇 (テーマ名の最初の5文字) _△△△△ (提出者氏名) _▽▽▽▽ (所属機関名 (略称可、個人の場合は省略))」としてください。

- ・革新的環境イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議決定）
<https://www8.cao.go.jp/cstp/siryohaihui048/siryohaihui048-2.pdf>
- ・2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略（令和3年6月18日関係府省）
<https://www.meti.go.jp/press/2021/06/20210618005/20210618005-3.pdf>
- ・産業技術ビジョン2020（令和2年5月29日経済産業省）
<https://www.meti.go.jp/press/2020/05/20200529010/20200529010-2.pdf>
- ・統合イノベーション戦略2023（令和5年6月9日閣議決定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/tougosenryaku/togo2023_honbun.pdf
- ・マテリアル革新力強化戦略（令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/material/material_honbun.pdf
- ・バイオ戦略フォローアップ（令和3年6月11日 統合イノベーション戦略推進会議決定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/bio/bio_fu_honbun.pdf
- ・AI戦略2022（令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議決定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/aistrategy2022_honbun.pdf
- ・量子未来産業創出戦略（令和5年4月14日 統合イノベーション戦略推進会議決定）／量子未来社会ビジョン（令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議決定）／量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議）
<https://www8.cao.go.jp/cstp/ryoshigijutsu/ryoshigijutsu.html>
- ・「安全・安心」の実現に向けた科学技術・イノベーションの方向性（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議）
https://www8.cao.go.jp/cstp/anzen_anshin/anzen_2.pdf